

2022年11月18日

沼津東高等学校 創立120周年記念事業 実行委員会活動報告

東高創立120周年記念事業
実行委員長 木村 博彦

母校創立120周年記念事業は、2021年に4つの行事の開催を計画しましたが、コロナの影響により日程と内容の変更を余儀なくされ、最終行事となる記念祝賀会が先週12日に無事開催されました。

つきましては、これまでの事業内容と、これからの予定を以下の通り報告させていただきます。

1. 活動経過

2016(平成28)年11月16日に創立120周年記念事業準備委員会が発足し、以来2022(令和4)年10月27日まで第16回実行委員会+第13回顧問会議の合同会議を開催した。

2. 記念事業の概要

1) 記念行事：2021(令和3)年7月4日(日)

沼津市民文化センターにてNHK交響楽団の演奏会を開催。

当初外人の指揮者及びソリストを予定していたが、コロナの影響により来日できず、日本人の指揮者(角田鋼亮^{つのだこうすけ})・ソリスト(横坂源^{よこさかげん})に変更し開催した。

演奏曲目：エルガー作曲 チェロ協奏曲 木短調 作品85

チャイコフスキー作曲 交響曲第4番 ヘ短調 作品36

会場は満席1,516席であるが、感染対策のため入場者を制限し開催した。

チケットの販売数は、912席であった。(N響への提供含)

2) 記念式典・記念講演：2021(令和3)年11月20日(日)

沼津市民文化センター及び沼津東高校をオンラインで結び開催

記念式典と、講師にOBである佐藤雅彦東京藝大名誉教授をお招きした記念講演を開催した。

文化センターでは感染対策のため出席者を、来賓、招待、1・2年生、教職員を含め742名に制限し開催した。3年生(279名)及び関係教職員は、学校の体育館とオンラインで結び出席して頂いた。

尚、同日予定していた祝賀会は、この時点では2022.8.20に開催される香陵同窓会総会の日延期することとした。

3) 百二十年史：2022(令和4)年3月刊行

先輩方が、素晴らしい百年史を残された。百二十年史は、その続編として101年より120年までの20年間の、母校と関連団体の活動の記録を冊子として制作した。

協賛広告協力者・同窓会費2年納入者・式典来賓・近隣の教育関係機関等には無償配布とし、生徒全員・教員希望者へは有償配布(3,000円/1冊)、購入希望者等へは有償配布(5,000円/1冊)とした。

尚、2021.11 に開催された記念式典時には、「120 年史抄本」を制作し配布した。

4) 記念祝賀会：2022(令和 4)年 11 月 12 日(土)

沼津リバーサイドホテルにて開催。

コロナの影響により、計画した 2021.11.20 及び 2022.8.20 が 2 度延期され、3 度目の正直で 2022.11.12 に開催することが出来た。

感染対策のため、人数を制限し 371 名の出席者で開催した。

3. その他の関連事業。

・ 絵画の寄贈

絵画が、川口潔氏・渡辺雄二氏（前田千寸作）・相磯政廣氏（中畝常雄作）の計 3 人より寄贈された。

・ 太鼓の寄贈

東京香陵同窓会より創立 50 周年を記念して、母校応援団に太鼓が寄贈された。

・ 逍遙の杜の樹木のコースター

岡宮北土地区画整理事業に伴い埋没する、「逍遙の杜」の伐採される樹木を利用し製作した。

配布は、生徒・教員・式典の来賓及び祝賀会出席者への記念品とした。

・ ニュートンのリンゴの木

母校には、OB である故長倉三郎先生(物理学者・元日本学士院長)のご尽力により、ニュートンのリンゴの木の子孫が接木され育てていたが、残念ながら枯れてしまった。そこで大岡小学校のご厚意により、ニュートンのリンゴの木の苗木を譲り受け接木し再生することが出来た。

・ 協賛広告

120 周年記念事業は、100 周年記念事業以来の大きな事業となるため、成功裏に導くための活動として、同窓生各位に協賛広告をお願いし、その小冊子を発行した。

・ やまももの移植

岡宮北土地区画整理事業に伴い埋没する逍遙の杜には、香陵の地より「やまもも」2 本が移植されていた。同窓生の強い希望により、伐採せずに再移植した。

4. 今後の予定

・ 「香陵百二十年の煌めき」の制作

120 周年記念事業の記録冊子として制作し、次回、2023.3.24 開催予定の(最終)実行委員会+顧問会議の合同会議開催時、その後の代表幹事・地区香陵会に配布予定である。

尚、当記録冊子には、120 年史編纂に伴う余話「揺籃の庭」も掲載する予定である。

これまでに母校、同窓会、外郭団体の皆様に多大なご支援、ご協力をいただきました事に感謝申し上げます。記念事業の報告といたします。